

# 中国人日本語学習者による様態「そうだ」の否定形式の 産出について

—「～しそうにない」系列と「～しなさそうだ」系列を中心に—

陳 莎莎

## 【キーワード】

上級学習者、「そうだ」否定形式、「～しそうにない」系列、「～しなさそうだ」系列

## 【要旨】

本稿は、中国人日本語学習者が、複数ある様態「そうだ」の否定形式をどのように産出するのかを考察するものである。その使い分けについて、中国人日本語学習者、日本語母語話者にアンケート調査を行い、比較分析した。調査は、あらかじめ文献及びコーパス調査で「～しそうにない」と「～しなさそうだ」両系列を中心に様態「そうだ」の各否定形式の違いを把握した上で、その内容を反映させた調査文を作成してインターネットのSNSを用いて実施した。その結果、(I)学習者は「そうだ」の否定形式に前接する語の品詞や、使用される文脈の違いに関わらず、一律に「～なさそうだ」を選択する傾向が強いこと、(II)学習環境面においては、留学経験ありの学習者は「形容詞・形容動詞+なさそうだ」と「～しなさそうだ」系列を、留学経験なしの学習者は、「形容詞・形容動詞+そうじゃない」と「～しそうにない」系列を選択する傾向が強いことが分かった。最後に、教科書では「～しそうにない」系列が提示されているにもかかわらず、学習者には教科書に記述のない「～しなさそうだ」系列の方が選ばれるのはなぜなのか、その要因を探った。

## 1. はじめに

現代の日本語において様態「そうだ」(以下、「そうだ」)の否定形式は、前接する語の品詞によって接続の仕方が変わり、複数の形を持つことで知られている。ここでは、動詞「行く」、形容詞「面白い」と形容動詞「自由」を例に説明する。

(1) 動詞「行く」:「行きそうにない」「行きそうもない」「行きそうにもない」

「行かなさそうだ」「行かなそうだ」「行きそうじゃない」

形容詞「面白い」:「面白くなさそうだ」「面白そうじゃない」

形容動詞「自由」:「自由じゃなさそうだ」「自由そうじゃない」

母語話者なら、上記(1)の否定形式を誰しもが日常生活で無意識的に使い分けている。それに比べ、筆者のような学習者は日本語学習時に、これらの否定形式全てに触れていくわけではない。特に動詞に接続する場合である。銭(2019)によれば、教科書では「動詞+そうに(も)ない」の否定形式が一般的に提示されているという。しかしながら、日常生活において、学習者による「動詞+なさそうだ」をしばしば耳にする。例えば、言語交流用アプリ「Hello Talk」における中国人学習者の投稿(2016年9月～2019年9月)を確認すると、以下の表1に示すように「動詞+なさそうだ」の使用件数は「動詞+そうに(も)ない」より2倍以上多いことが分かる。

表1 「Hello Talk」で中国人日本語学習者による「そうだ」否定形式の使用件数

否定形式	使用件数	合計
動詞+そうにない	16件	教科書記述あり 35件
動詞+そうもない	17件	
動詞+そうにもない	2件	
動詞+なさそうだ	83件	教科書記述なし 83件

以上のことから、学習者はなぜ教科書に記述されていない「動詞+なさそうだ」を多用するのかという疑問が生じた。そこで、本稿では動詞に接続する「そうに(も)ない」・「なさそうだ」を中心に上記の問題点を明らかにすることを目的とする。なお、本稿では、動詞に接続する「そうにない/そうもない/そうにもない」3つの形式を区別せずに、「～しそうにない」系列と称する。それに対応して「動詞+なさそうだ」1つの形式も「～しなさそうだ」系列と称する<sup>1)</sup>。

## 2. 先行研究と研究目的

### 2-1 先行研究

本研究に深く関わっている先行研究は銭(2019)、宮口(2019)が挙げられる。銭(2019)は、文献(教科書9冊)とコーパス、それにアンケート調査を用い、いわゆる様態「そうだ」の否定形について、母語話者と学習者の規範意識と使用実態を調査した。その結果、教科書では「動詞+そうに(も)ない」と「形容詞・形容動詞+なさそうだ/そうじゃない」しか取り上げられていないと指摘している。また、中国国内の学習者42名(N1<sup>2</sup>レベル=30名)を対象に規範意識についてのアンケートをした結果は、教科書の分析結果と一致し、学習者は「動詞+そうに(も)ない」と「形容詞・形容動詞+なさそうだ/そうじゃない」を正しい形とする規範意識を持つと位置づけている。しかし、銭(2019)

<sup>1)</sup>「動詞+そうじゃない/なさそうだ」に関しては、予備調査では学習者による認知度がかなり低い結果が出たため、本稿の考察対象から外した。

<sup>2)</sup> 日本語能力試験1級。

が収集した学習者による動詞の各否定形データを詳しく見ると、学習者は動詞接続の「そうだ」否定形に関する規範意識をそもそも持っていないのではないかと考えられる。以下、表2を用いながら理由を説明していく。

表2 動詞における各否定形の選択率

	正しいので使う	間違っているので使わない	間違っているが使う
そうにない	81.9%	12.38%	5.72%
なそうだ	13.33%	73.33%	13.34%
なさそうだ	27.14%	47.14%	25.72%

(銭 (2019 : 21) の表8を引用者により一部改変したもの)  
表2から見れば、「動詞+なさそうだ」を間違っている言い方として普段使わないと捉える学習者は47.14%である。言い換えれば、「動詞+なさそうだ」を普段使っている学習者が52.86% (27.14%+25.72%) を占めているということになる。また、調査対象の日本語レベルを考えあわせると、上級の学習者にも、「動詞+なさそうだ」が産出されやすいと推察できる。従って、学習者は銭 (2019) のいう規範意識を持っていないのではないかとの見方も成り立つ。

一方、宮口 (2019) は、教材分析とアンケート調査を用い、教材での動詞に接続するソウダ否定表現の扱いと学習者の実際知識との隔たりに注目して日本国内の学習者62名を対象に調査を行った。その結果、教材分析は銭 (2019) と同じく、動詞の「ナ(サ)ソウダ」はいずれの教科書にも記載がなかったと述べている。アンケート調査からは学習者による「ナ(サ)ソウダ」の記述が多いことから、学習者の実際知識と教科書での学習項目には隔たりがあると結論づけている。こうした要因として、形容詞との混同による可能性と日本語母語話者からの影響を指摘している。しかし、結論は推察にとどまっておき、実際に学習者がどのようなきっかけで「～しなさそうだ」系列を使うようになったのかについて、意識調査が求められる。

このように、銭 (2019) の調査結果は、中国国内の日本語学習者は規範意識を持ち、完全に教科書調査結果と一致すると指摘しているのに対し、日本国内の学習者を対象とした宮口 (2019) は、学習者の実際知識と教科書での学習項目との隔たりがあると結論づけている。これらの先行研究を踏まえると、「そうだ」の否定形式の産出状況は学習環境についても考察する必要があると思われる。

## 2-2 研究目的

本稿では、「～しそうにない」と「～しなさそうだ」両系列を中心に、中国人日本語学習者による「そうだ」の否定形式の産出状況を考察するうえで、以下の3点を明らかにすることを目的にする。

- (i) 「そうだ」の否定形式を使う時、学習者は母語話者と異なるところがあるのか。またどこか。
- (ii) 学習環境によって、「そうだ」の否定形式を使う際に異同があるのか。

- (iii) 教科書では「～しそうにない」系列が提示されているのに、学習者には教科書に記述のない「～しなさそうだ」系列が選ばれるのはなぜなのか。

### 3. 研究方法

本稿では、文献調査に加え、コーパス調査を通じて、「～しそうにない」と「～しなさそうだ」両系列を中心に「そうだ」の否定形式の違いを明らかにした上で、その内容をアンケート設問に反映させた。

文献調査の結果、動詞接続の「～しそうにない」と「～しなさそうだ」両系列の相違点は概ね以下の3点にまとめられる。以下、用例中の下線は筆者によるものである。

- (a) 話し手の期待に反する実現可能性の低さを表す文脈では、「～しそうにない」系列が使われやすい。以下、(2)、(3)の例を示す。

(2) どうも喜助のような心持にはなられそうにない。

(高瀬舟<森鷗外>) (『日本語国語大辞典(第2版)』2001:290)

(3) (晴れた空を見て) 当分雨は降りそうにない<sup>3</sup>。 (細野 2013:58)

- (b) 予測に重点がある文脈では、「～しそうにない」系列が使われやすい一方、眼前の様子に重点がある文脈では「～しなさそうだ」系列が使われやすい。以下、(4)、(5)の例を示す。

(4) 変な質問ばかりで、すぐには答えられそうにない問題ばかりだ。(豊田 1998:66)

(5) この前聞いた時あの人知らなさそうな顔をしていたけどね。(同上)

- (c) 判断の否定の場合は「～しそうにない」を使うのが適格であるが、否定事態の様態の場合は「～しなさそうだ」を使うのが一般的である。以下、(6)、(7)の例を示す。

(6) このおまかせコースではビールが足りそうにない。別に注文しておいたほうがいいだろう。(川畠 2002:71)

(7) 赤ちゃんはミルクが足りなさそうだ。(同上)

次に、形容詞・形容動詞接続について見ていく。豊田(1998)によると、「そうだ」の否定形式は「面白い」のような一般形容詞では、「なさそうだ」を使うのが一般的で、「すまない」のような「ない」が付いて形容詞の働きをする語(本稿:ナイ型形容詞)は、「なさそうだ・なそうだ」でゆれているという。細野(2013)は、「少ない」のような音声上「ない」で終わる形容詞(本稿:音声上「ない」で終わるナイ型形容詞)は「なそうだ」を使うのが普通であることと、形容動詞は「なさそうだ」を使うのが一般的だと指摘している。さらに、豊田(1998)はイ形容詞・ナ形容詞(本稿:形容詞・形容動詞)とも

<sup>3</sup> 菊地(2000)は「降りそうに(も)ない」は空に一片の雲もない快晴で、かつ「降ると言う予報だったが・降ってほしいのだが」という場合に使うのが自然だと述べている。そのため、本稿では、アンケートの調査文を作成する際、それと細野(2013)を参考にして以下のように作例した。

・(雨が降ってほしいのだが、晴れた空を見て)当分雨は降りそうにないな。

眼前の描写文ではなく、想像の意味が強い文では「そうじゃない」の比率が低いと指摘している。

(8) 「あなたがわざわざ行ってあげたんだから、喜んだでしょう。」「それがね、どう  
いうわけかあまり{嬉しそうじゃないの(56%) / 嬉しくなさそうなの(56%)}」。  
(豊田 1998 : 68)

(9) 今度の台風はかなり大きくて風は強いが、雨台風じゃないそうだから明日、雨は  
あまり{多いそうじゃない(4%) / 多くなさそうだ (94%)}。  
(豊田 1998 : 69)

それに加え、日本語母語話者による「～しそうにない」と「～しなさそうだ」両系列の使用実態を明らかにするため、書き言葉と話し言葉についてそれぞれ BCCWJ と名大会話コーパスを用いて調査を行った。その相違点に関しては以下の (d)、(e) である。

(d) 「とても」「到底」等の程度副詞が前接する時及び「みたい・よう」等認識モダリティに後接する場合は「～しそうにない」系列が使われやすい。また、(10) のように上下関係に着目すれば、目上に対して「～しそうにない」系列が使われる傾向が強いことが認められる。

(10) 神父は語っている。「国王は舌がもつれて話すことが容易でなく、罪の告白も  
とても終りまでできそうにありませんでした。」 (BCCWJ : LBg9\_00011)

(e) 「いる」「する」等のような一音節の動詞の場合は「～しなさそうだ」系列が使われやすい。このほか、(11) のように動作の主体から見ると、他人の行動を述べる時つまり他人事の場合は「～しなさそうだ」が使われやすい傾向がある。

(11) 今回は、一ヶ月前と違って校外の出来事だ。牧野は関係ない。(中略)  
でも、牧野は事件のことを何も知らなさそうだ。 (BCCWJ : LBt9\_00121)

## 4. アンケート調査の概要

### 4-1 調査内容

本稿では、上級の学習者でも「動詞+なさそうだ」を多用するという先行研究(銭 2019)の調査結果に基づき、調査対象者を N1 または旧一級に合格している中国人日本語学習者にした。それと比較するため、日本語母語話者にも調査した。調査ツールは中国の『問券星』というアプリを用い、インターネットの SNS を通して 2020 年 10 月 29 日から 11 月 12 日にかけてアンケートを行った。実際の有効回答となる対象者の内訳は学習者 198 名と母語話者 106 名である。そのうち、日本留学経験ありは 133 名、留学経験なしは 65 名である。

調査方式は選択方式及び記述形式である。調査対象者には、それぞれの調査文に示した選択肢の中から、実際に自分が言う場合に最も自然だと感じられるものを 1 つ選んでもらうが、それ以外の言い方をする場合は、【その他】に自由記述とした。調査文は計 25 問を設けた。このうちの 23 問は「3. 研究方法」で述べた両系列を中心に「そうだ」の否定形式の異同を取り入れた設問である。調査文に使う例文も主に「3. 研究方法」で

挙げたコーパスや文献の用例から抜粋したものである。そして、最後の2問では学習者の使用意識を問うた。調査のポイントは①前接する語の品詞による使い分け(調査文1)~12)、②形容詞・形容動詞・動詞接続時の文脈による使い分け(調査文3)~4)・11)~12)・13)~23))、③学習者の両系列それぞれを使うようになったきっかけ(調査文24)~25))の3つである。詳しくは本稿末尾の添付資料を参照されたい。なお、調査意図を隠すため、実際の調査文の順番は添付資料と異なり、設問をランダムに並べ直した。

## 4-2 調査結果と考察

### 4-2-1 学習者と母語話者の比較

ここでは、調査文1)~23)の調査結果を通して学習者と母語話者の間に、選択差が大きく見られた項目を図式で提示しながら説明していく。なお、図の下に調査文を示す。

まず、「①前接する品詞による使い分け」に関する調査結果を考察する。

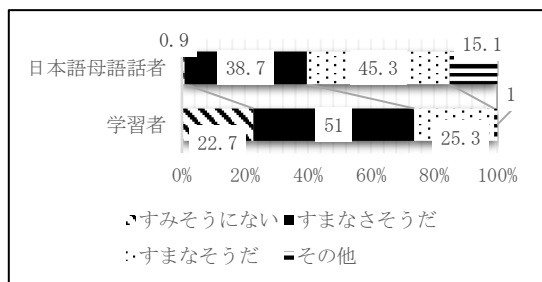


図1 ナイ型形容詞「すまない」

図1: 設問5)彼は約束の時間に遅れて、( )。

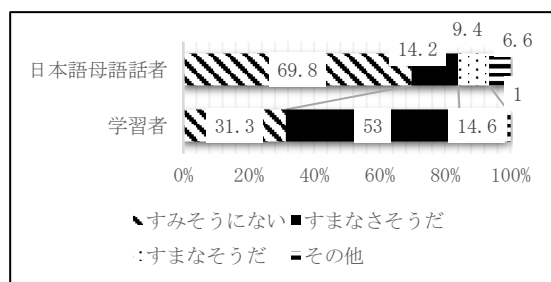


図2 動詞「済む」

図2: 設問6)この仕事、今日中には( )なあ。

図1に示すように、「すまない」のようなナイ型形容詞の場合には、母語話者には「そうにない」がほとんど選択されず、「なそうだ」と「なさそうだ」でゆれていることが分かる。一方、学習者には「なさそうだ」が最も選択されていることが見て取れる。また、図2から見ると、「済む」のような動詞の場合には、母語話者では「そうにない」が最も選択され、「なさそうだ」「なそうだ」がほとんど選択されていないことが分かるが、学習者は、図1と同じく「なさそうだ」の選択率が最も高いことが分かる。

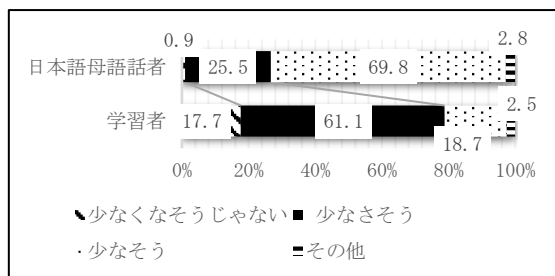


図3 音声上「ない」で終わるナイ型形容詞「少ない」

図3: 設問9)そのやり方は、一番問題が( )。

図3を見ると、「少ない」のような音声上「ない」で終わるナイ型形容詞の場合には、

母語話者は「なさそうだ」の選択率が最も高い。それに対して学習者は依然として「なさそうだ」の選択率が最も高いことが分かる。

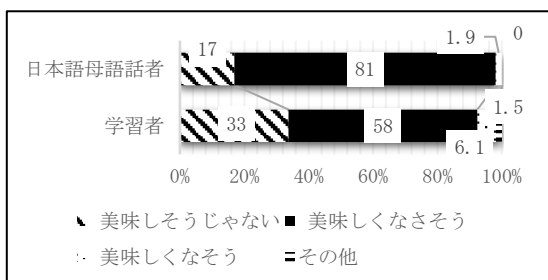


図4 一般形容詞「美味しい」

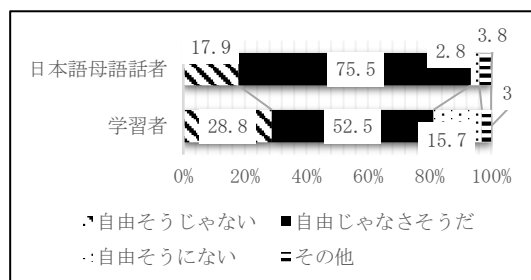


図5 形容動詞「自由」

図4: 設問2) この料理、見た目からしてあまり( )。

図5: 設問11) うちの高校は校則が厳しくて、あまり( )って言われるけど、実際はそうでもないよ。

図4~5で示すように、一般形容詞・形容動詞の場合には、母語話者、学習者とも、「なさそうだ」の選択率が最も高いことが分かる。

以上の内容をまとめると、母語話者は前接する語の品詞によって、「そうだ」の否定形式を使い分けている。一方、学習者は、前接する語の品詞を問わず、「なさそうだ」が選択されやすい。よって、学習者は前接する語の品詞による使い分けの意識が低いのではないと思われる。

次に、「②形容詞・形容動詞・動詞接続時の文脈による使い分け」に関する考察である。形容詞に接続する場合は、図6~7の通りである。

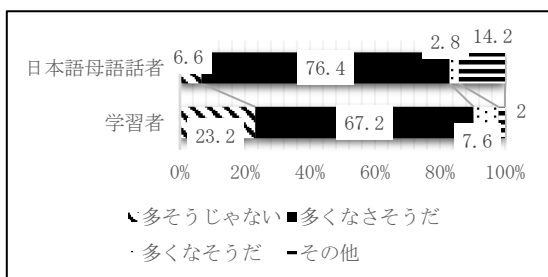


図6 想像の意味が強い文「多い」

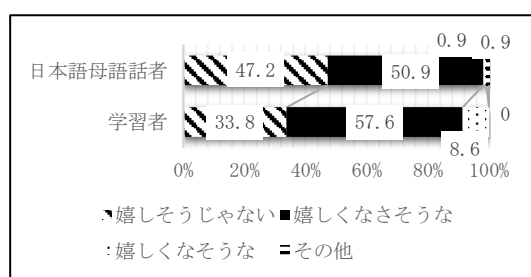


図7 眼前の描写文「嬉しい」

図6: 設問3) 今度の台風はかなり大きくて風が強いが、雨台風じゃないらしいから、明日、雨はあまり( )。

図7: 設問4) 彼女、もうすぐ結婚するっていうのに全然( )のよ。

図6から、想像の意味が強い文脈では、母語話者は「なさそうだ」の選択率が最も高いことと、「そうじゃない」がほとんど選択されていないことが見て取れる。一方、学習者は、「なさそうだ」の選択率が母語話者と同じく最も高いが、「そうじゃない」の選択率が23.2%を占め、母語話者の6.6%より高い選択率であることが分かる。また、図7の眼前の描写文となると、母語話者は、図6と同様「なさそうだ」の選択率が最も高いが、「そうじゃない」の選択率は図6(6.6%)、図7(47.2%)まで高まる。一方、学習者も「なさそうだ」が最も選択されているが、「そうじゃない」の選択率は図6の23.2%から図7の33.8%へと母語話者ほどの変化が見られないことが分かる。

次に、形容動詞に接続する場合は次の図8~9の通りである。

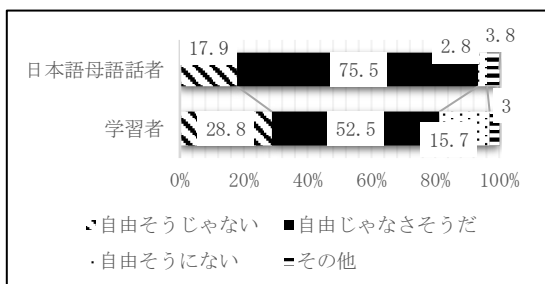


図8 想像の意味が強い文「自由」

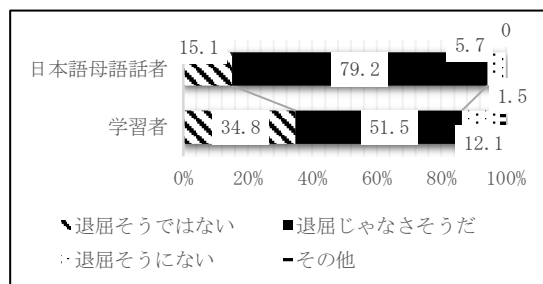


図9 眼前の描写文「退屈」

図8：設問11)うちの高校は校則が厳しくて、あまり（ ）って言われるけど、実際はそうでもないよ。

図9：設問12)君が入院したって聞いて気を紛らわすものが無いだろうと思ったからDVDを持ってきたけど案外（ ）ね。

図8では、想像の意味が強い文脈には、母語話者と学習者とも形容詞の場合と同じく「なさそうだ」が最も選択されているが、母語話者は「そうじゃない」の選択率が形容詞の場合ほど低くないのに対し、学習者は形容詞の選択率とあまり変わらないことが分かる。また、図9では、眼前の描写文となると、両者とも「なさそうだ」が最も選択されているが、母語話者は「そうじゃない」の選択率が形容詞のように高くなるのではなく、逆に低くなっていることが分かる。一方、学習者は、「そうじゃない」の選択率が34.8%で、文脈の違いによって大きな変化が見られないことが分かる。

最後に、動詞に接続する文脈についてである。次の図10～15の通りである。

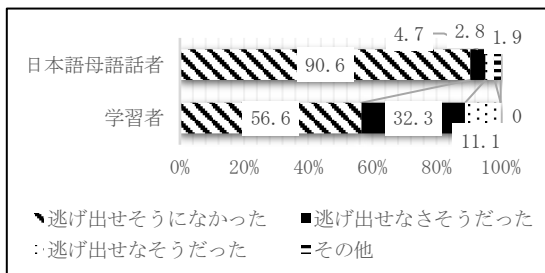


図10 期待に反する実現可能性の低さ「逃げ出せる」

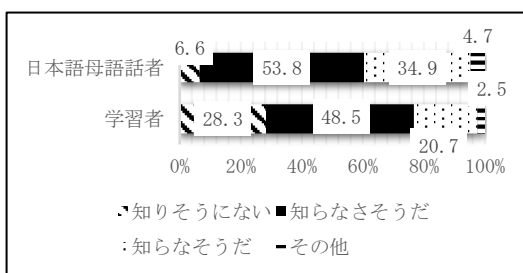


図11 他人事「知る」

図10：設問14)光子と飛び降りて逃げようとしたが、大勢の警官がとりまいていて、とても（ ）。

図11：設問15)今回は一ヶ月前と違って校外の出来事だ。牧野は関係ない。(中略)でも牧野は事件のことを何も（ ）。

図10の期待に反する実現可能性の低さの文脈の結果を見ると、母語話者は「なさそうだ」の選択率が4.7%であるが、学習者は「なさそうだ」の選択率が32.3%を占めている。これは、母語話者よりかなり高い選択率である。また、図11の他人事の場合には、母語話者には「そうにない」がほとんど選択されていないが、学習者は28.3%で母語話者より高い選択率であることが見て取れる。

<sup>4</sup> この結果は、前述した豊田(1998)の眼前の描写文は形容動詞接続で「そうじゃない」の比率が高くなるという指摘に反するもので、その点について今後調査文を増やして文脈をさらに慎重に設定した調査が必要だと思われる。

<sup>5</sup> この文脈の場合には、テンスの視点から現在を表している。しかし、「知りそうにない」は未来を表しているため、母語話者は「知りそうにない」の使用を避けている可能性があるとして修論の発表会でご指摘を頂いた。この点については今後の課題としたい。



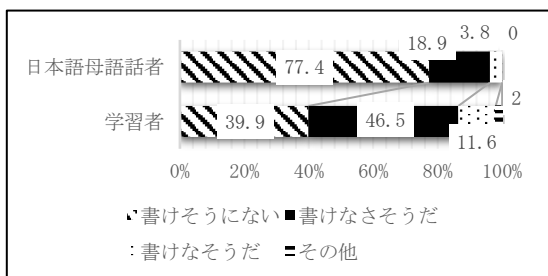


図12 予測に重点がある「書ける」

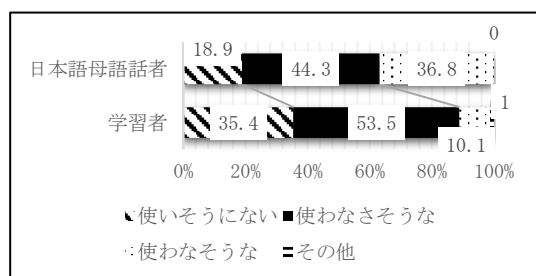


図13 眼前の様子に重点がある「使う」

図12: 設問22) Aさん: 今週中に原稿書いていただけますか。Bさん: 今週も( )。

図13: 設問23) Aさん: このノート、ここにいる人みんなにあげるの。Bさん: よく見て( )人にはあげないね。

図12~13では、母語話者は予測に重点がある文脈の場合には「そうにない」が最も選択されるが、眼前の様子に重点がある文脈には、「そうにない」の選択率が最も低いことが分かる。一方、学習者は、両文脈とも「なさそうだ」が最も選択されて「そうにない」の選択率にはほとんど違いが見られない。

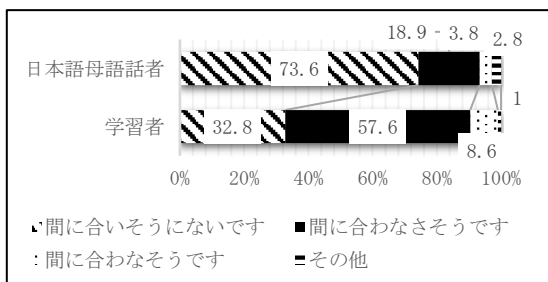


図14 店長に対して「間に合う」

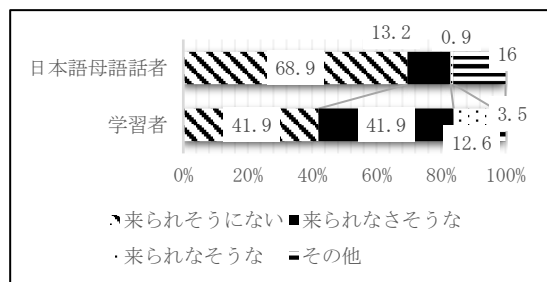


図15 お客様に対して「来られる」

図14: 設問17) (店長にメールする場合) お疲れ様です。〇〇です。今日、18時出勤する予定でしたが、授業が延びてしまって、申し訳ございませんが、18時に( )です。

図15: 設問18) (景品の受け取りのお知らせ) 〇〇さま、ご当選、おめでとうございます。10月15日まで景品をお預かりしております。もし( )場合は、あらかじめご相談お願い致します。

図14~15で示すように、目上に対する場合、母語話者には「そうにない」が最も選択され、次に多いのは「なさそうだ」であるが、選択率としては低い水準であることが分かる。一方、学習者は母語話者に反して「なさそうだ」が最も選択されている。

ここで、以上の内容をまとめると、母語話者は、文脈の違いによって、「そうだ」の否定形式を使い分けている。それに比べ、学習者には前接する形容詞・形容動詞・動詞のいずれの場合においても、文脈の違いに関わらず、「なさそうだ」が選択されやすい。よって、学習者は文脈の違いによって、「そうだ」の否定形式の使い分けがあることを意識していないと推察される。

#### 4-2-2 留学経験なしと留学経験ありの比較

留学経験なし・ありの比較について、前節のように調査文ごとに考察したが、大きな差が見られなかったため、ここでは、表3と表4に基づき、全体的に見ていく。

表3 留学経験なし・ありの「そうだ」否定形式の選択率一覧表（形容詞・形容動詞）

形容詞 形容動詞	そうじゃない %		なさそうだ %		なそうだ %		その他 %	
	留学経験有無		留学経験有無		留学経験有無		留学経験有無	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
面白い	41.5>	30.1	52.3	<64.7	1.5	3.8	4.6	1.5
美味しい	43.1>	29.3	49.2	<63.2	4.6	6.8	3.1	0.8
多い	29.2>	20.3	67.7>	66.9	3.1	9.8	0.0	3.0
嬉しい	43.1>	29.3	50.8	<60.9	6.2	9.8	0.0	0.0
少ない	27.7>	12.8	58.5	<62.4	12.3	21.1	1.5	3.8
危ない	16.9>	7.5	52.3>	46.6	29.2	42.1	1.5	3.6
自由	36.9>	24.8	47.7	<54.9	13.8*	16.5*	1.5	3.8
退屈	36.9>	33.1	44.6	<54.9	15.4*	10.5*	3.1	1.5
すまない	26.2*	21.1*	52.3	<50.4	18.5	28.6	3.1	0.0
物足りない	20.0*	12.0*	67.7	<74.4	12.3	11.3	0.0	2.3

（\*は選択肢「そうにない」となっている）

表4 留学経験なし・ありの「そうだ」否定形式の選択率一覧表（動詞）

動詞	そうにない %		なさそうだ %		なそうだ %		その他 %	
	留学経験有無		留学経験有無		留学経験有無		留学経験有無	
	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり
済む	33.8>	30.1	52.3	<53.4	12.3	<15.8	1.5	0.8
降る	56.9>	45.1	35.4	<42.9	7.7>	7.5	0.0	4.5
登ってこられる	50.8>	42.9	41.5	<45.1	7.7	<12.0	0.0	0.0
来られる	49.2>	38.3	32.3	<46.6	12.3	<12.8	6.2	2.3
行ける	56.9>	45.1	32.3	<36.8	7.7	<14.2	3.1	3.6
足りる②	29.2>	17.3	66.2	<69.2	4.6	<12.8	0.0	0.8
足りる③	29.2>	16.5	63.1	<66.2	7.7	<15.0	0.0	2.3
書ける	47.7>	36.8	41.5	<48.9	9.2	<12.8	1.5	1.5
使う	43.1>	31.6	50.8	<54.9	6.2	<12.0	0.0	1.5
知る	36.9>	24.1	49.2>	48.1	13.8	<24.1	0.0	3.8
間に合う	35.4>	31.6	61.5>	55.6	3.1	<11.3	0.0	1.5
足りる①	27.7	<30.1	64.6>	55.6	7.7	<12.0	7.7	2.3
逃げ出せる	55.4	<57.1	36.9>	30.1	7.7	<12.8	0.0	0.0
脱げる	46.2	<48.1	44.6>	36.8	9.2	<15.0	0.0	0.0
いく	15.4	<27.8	73.8>	51.9	10.8	<18.0	0.0	2.3

表3の形容詞・形容動詞に接続する場合から見ると、「そうじゃない」の選択率は、すべての調査文において、留学経験なしは、留学経験ありより高いことが分かる。また、

「なさそうだ」の選択率は、「多い」「危ない」の2問の調査文のみで、留学経験なしの方が高いことが分かる。表4の動詞に接続する場合には、「そうにない」の選択率が、調査文15問のうち、11問（「済む」～「間に合う」）で留学経験なしの方が留学経験ありより高いことと、「なさそうだ」「なそうだ」の選択率では留学経験ありの方が高いことが分かる。従って、形容詞・形容動詞に接続する時、留学経験なしは「そうじゃない」を選択しやすいが、留学経験ありは「なさそうだ」を選択しやすいと推察できる。また、動詞に接続する場合には、留学経験なしには「そうにない」が選択されやすく、留学経験ありには「なさそうだ」「なそうだ」が選択されやすいと推測される。このように、留学経験なしの学習者は、留学経験ありに比べ、教科書の知識との隔たりが小さいと考えられる。

#### 4-2-3 学習者の両系列それぞれを使うようになったきっかけ

「③学習者が両系列それぞれを使うようになったきっかけ」についても調査した。結果は、次の図16の通りである。

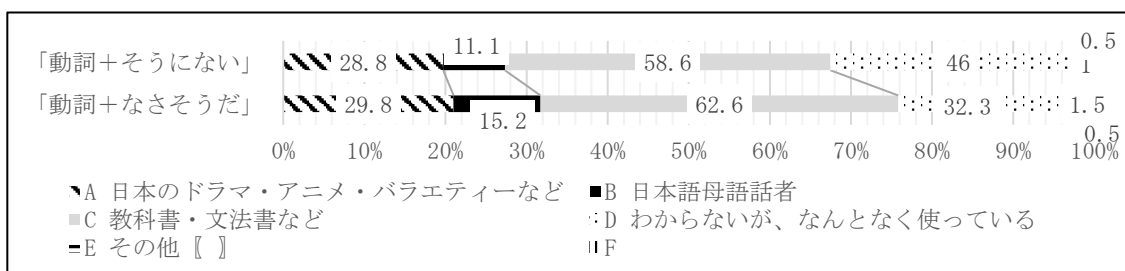


図16 学習者の両系列それぞれを使うようになったきっかけ

図16では、学習者は両系列とも教科書などで習った意識が最も強いことが見て取れるが、教科書に記述がない動詞の「～しなさそうだ」系列の方がより強いことも分かる。これは、形容詞・形容動詞の接続の仕方からの影響が最も大きいと言えるだろう。

以上の考察を踏まえ、教科書では「～しそうにない」系列が提示されているにもかかわらず、学習者には教科書に記述のない「～しなさそうだ」系列の方が選ばれる要因としては、学習者は両系列の使い分けがあることを意識していないという状況があり、形容詞・形容動詞+なさそうだ」の影響を大きく受け、変形プロセスが不規則な「そうにない」より規則の単純な「なさそうだ」の方が選択されやすいと考えられる。

## 5. おわりに

本稿では、中国人日本語学習者が、複数ある「そうだ」の否定形式をどのように産出するのかという課題について、中国人日本語学習者および日本語母語話者を対象としたアンケート調査を手掛かりに考察した。主な結果は次の2点である。

- (ア) 学習者は前接する語の品詞や、使用される文脈の違いに関わらず、一律に「～なさそうだ」を選択する傾向が強いことが分かった。この結果から、学習者は、「そうだ」の否定形式の使い分けや、印象の違いを認識していない可能性が高いと考えられる。
- (イ) 学習環境の面では、形容詞・形容動詞に接続する場合、留学経験あり・なしとも、教科書に記述されている「そうだ」の否定形式を選択するが、留学経験ありは「～なさそうだ」を、留学経験なしは「～そうじゃない」を選択する傾向が強いことが分かった。一方、動詞接続に接続する場合、留学経験ありは教科書に記述のない「～しなさそうだ」系列を、留学経験なしは教科書に記述されている「～しそうにない」系列を選択する傾向が明らかになった。これは、留学経験なしの方が言語の変化について、日本語母語話者からの影響<sup>6</sup>を受けにくいいため、教科書の知識通り選択していると考えられる。

以上の考察を踏まえ、日本語教育において、以下のことを提案したい。

まず、前接する語の品詞によって接続の仕方が異なることをはっきりと示すことである。例えば、「すまない」のようなナイ型形容詞は「なさそうだ」と「なそうだ」でゆれているが、「少ない」のような音声上「ない」で終わるナイ型形容詞は「なそうだ」を使うのが一般的であること、動詞の中でも「済む」の未然形「すまない」の場合は、形容詞と混同しやすいため、「そうにない」を使うのが一般的であることを改めて明示すべきである。

次に、「～しそうにない」系列が日本語母語話者に選ばれやすいのは、どんな時なのかを例文を挙げて示すことである。文献調査で触れた (a)、(b) など期待に反する実現可能性の低さを表す文脈及び予測に重点がある文脈には「～しそうにない」系列が使われやすいことを明示する必要がある。

さらに、目上に対して動詞に接続する「そうだ」の否定形式を使う場合には、「～しそうにない」系列を使うのが無難であることを注意することも重要だと考えられる。

今後の課題としては、ここまで述べた以外のこととして、調査の自由記述には「そうだ」の否定形式を使わずに「ないみたい/ないようだ/ないだろう」のような表現を用いて回答するものが見られた。しかし、なぜ選択肢に示している「そうだ」の否定形式ではなく、それらを使うのかを今後の課題としたい。また、野田(2003)は、「そうだ」の否定形式には地域差があると指摘しているが、本稿ではそれに触れられなかったため、今後の課題として調査したい。

---

<sup>6</sup> 野田(2003)や、細野(2013)は日本の若年層では、動詞に接続時に「な(さ)そうだ」が広く使われていると指摘している。

## 参考文献

- 川島信恵 (2002) 「シソウダに関わる知識と否定文の適格性」『日本語・日本文化研究』(12), pp.65-76.
- 菊地康人 (2000) 「いわゆる様態の「そうだ」の基本的意味—あわせて、その否定各形の意味の差について—」『日本語教育』(107), pp.16-25.
- 銭俊 (2019) 「いわゆる様態の「そうだ」の否定形について—母語話者と学習者の規範意識と使用実態の比較を中心に—」埼玉大学教養学部卒業論文.
- 豊田豊子 (1998) 「「そうだ」の否定の形」『日本語教育』(97), pp.60-71.
- 野田春美 (2003) 「様態の「そうだ」の否定形の選択傾向」『日本語文法』3 (2), pp. 131-145.
- 細野英里子 (2013) 「様態の「そうだ」について—否定的表現形式を中心に—」『語文論叢』(28), pp.23-48.
- 宮口徹也 (2019) 「雨は「降りそうにない」のか「降らなさそう」なのか—ソウダ否定表現の扱いと学習者の知識との隔たりに注目して—」『日本語教育方法研究会誌』25 (2), pp. 42-43.

## 使用辞書

『日本国語大辞典』(第2版) 小学館

## 使用データ

- 国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス BCCWJ』(通常版)(最終検索日: 2020年5月15日)(<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>、「中納言」ver. 2. 4. 0)
- 国立国語研究所『名大会話コーパス』(最終検索日: 2020年7月24日)(URL: 同上)

## 【添付資料】

次の1)~23)の質問では、選択肢のうち、実際に自分が言う場合にもっとも自然だと感じられるものを一つを選択してください。A~C以外の言い方をする場合は、D【その他】に記入してください。

- 1) あの映画、( )ね。  
A面白そうじゃない      B面白くなさそう      C面白くなそう      Dその他\_\_\_\_
- 2) この料理、見た目からしてあまり( )。  
A美味くなそう      B美味くなさそう      C美味しそうじゃない      Dその他\_\_\_\_
- 3) 今度の台風はかなり大きくて風は強いが、雨台風じゃないらしいから、明日、雨はあまり( )。  
A多くなさそうだ      B多そうじゃない      C多くなそうだ      Dその他\_\_\_\_
- 4) 彼女、もうすぐ結婚するっていうのに全然( )のよ。  
A嬉しくなさそうな      B嬉しくなさそう      C嬉しそうじゃない      Dその他\_\_\_\_
- 5) 彼は約束の時間に遅れて、( )。

- Aすまなさそうだ Bすみそうにない Cすまなそうだ Dその他\_\_\_\_
- 6) この仕事、今日中には ( ) なあ。  
Aすまなさそうだ Bすまなそうだ Cすみそうにない Dその他\_\_\_\_
- 7) さっきあんなに食べたのに、まだ ( ) ね。  
A物足りなさそうだ B物足りなそうだ C物足りそうにない Dその他\_\_\_\_
- 8) 人をあんなに募集したのに、まだ ( ) ね。  
A足りなそうだ B足りなさそうだ C足りそうにない Dその他\_\_\_\_
- 9) そのやり方は、一番問題が ( )。  
A少なそう B少なさそう C少なくなそうじゃない Dその他\_\_\_\_
- 10) 向こうに立っている木の柵は古くなって、( ) から、近づいちゃだめよ。  
A危なさそうだ B危なそうだ C危なくなそうじゃない Dその他\_\_\_\_
- 11) うちの高校は校則が厳しくて、あまり ( ) って言われるけど、実際はそうでもないよ。  
A自由そうじゃない B自由じゃなさそうだ C自由そうにない Dその他\_\_\_\_
- 12) 君が入院したって聞いて、気を紛らわすものが無いだろうと思ったからDVDを持ってきたけど、案外 ( ) ね。  
A退屈そうではない B退屈そうにない C退屈じゃなさそうだ Dその他\_\_\_\_
- 13) (雨が降ってほしいのだが、晴れた空を見て) 当分雨は ( ) な。  
A降りそうにない B降らなそうだ C降らなさそうだ Dその他\_\_\_\_
- 14) 光子と飛び降りて逃げようとしたが、大勢の警官がとりまいていて、とても ( )。  
A逃げ出せそうになかった B逃げ出せなさそうだった C逃げ出せなそうだった Dその他\_\_\_\_
- 15) 今回は、一ヶ月前と違って校外の出来事だ。牧野は関係ない。事実、今朝の連絡でも、Iフォートでの事件について一言も触れられなかった。ニュースでもチェックしていれば、知っていてもおかしくない。でも、牧野は事件のことを何も ( )。  
A知りそうにない B知らなそうだ C知らなさそうだ Dその他\_\_\_\_
- 16) いい成績を取れて、良かった。でも、本人はあまり納得が ( )。  
Aいかなさそうだった Bいきそうになかった Cいかなそうだった Dその他\_\_\_\_
- 17) (今日の18時コバイトに出勤する予定のあなたが、授業が延びてしまって、店長にメールする場合)  
お疲れ様です。〇〇です。今日、18時に出勤する予定でしたが、授業が延びてしまって、申し訳ございませんが、18時に ( ) です。  
A間に合いそうにないです B間に合わなさそうです C間に合わなそうです Dその他\_\_\_\_
- 18) (景品の受け取りのお知らせ) 〇〇さま、ご当選、おめでとうございます。10月15日まで景品をお預かりしております。もし ( ) 場合は、あらかじめご相談お願い致します。  
A来られそうにない B来られなさそう C来られなそう Dその他\_\_\_\_

- 19) (友達からこの夏休みに一緒に京都へ行こうと誘われたときの答え)  
誘ってくれて、ありがとう！でも、この夏休み、忙しくなりそうなので、( )のよ。ごめんね！  
A 行けそうにない B 行けなそうな C 行けなさそうな D その他\_\_\_\_
- 20) このおまかせコースではビールが( )。別に注文しておいたほうがいいだろう。  
A 足りなそう B 足りなさそう C 足りそうにない D その他\_\_\_\_
- 21) みんなはビールが( )。  
A 足りそうにない B 足りなそう C 足りなさそう D その他\_\_\_\_
- 22) Aさん：今週中に原稿書いていただけますか。Bさん：今週も( )。  
A 書けなさそうだ B 書けなそうだ C 書けそうにない D その他\_\_\_\_
- 23) Aさん：このノート、ここにいる人みんなにあげるの。Bさん：よく見て、( )人にはあげないでね。  
A 使わなそうな B 使わなさそうな C 使えそうにない D その他\_\_\_\_

次の24)～25)の質問は、中国人日本語学習者にお聞きいたします。日本語母語話者の方は24)～25)のいずれも、**直接「F」を選んでください。**

- 24) 「動詞+そうにない」(「降りそうにない」)は主に以下のどこで習いましたか。(複数選択)  
A 日本のドラマ・アニメ・バラエティーなど B 日本語母語話者 C 教科書・文法書など  
D わからないが、なんとなく使っている。 E その他\_\_\_\_ F
- 25) 「動詞+なさそうだ」(「通じなさそうだ」)は主に以下のどこで習いましたか。(複数選択)  
A 日本のドラマ・アニメ・バラエティーなど B 日本語母語話者 C 教科書・文法書など  
D わからないが、なんとなく使っている。 E その他\_\_\_\_ F

(埼玉大学大学院人文社会科学研究所博士前期課程)